

# 温泉の成分、禁忌症、適応症及び入浴上の注意

## 成 分

- 1 源泉名 尾張温泉1号泉、尾張温泉2号泉、尾張温泉4号泉
- 2 泉質 単純温泉(低張性弱アルカリ性高温泉)
- 3 温度 源泉 49.6℃  
公共の浴用に供する場所 48.0℃
- 4 温泉の成分(試料1kg中の成分分量及び組成)

### (1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ナトリウムイオン(Na <sup>+</sup> )	165.8	7.21	92.67
カリウムイオン(K <sup>+</sup> )	5.2	0.13	1.67
アンモニウムイオン(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	0.3	0.02	0.26
マグネシウムイオン(Mg <sup>2+</sup> )	0.5	0.04	0.51
カルシウムイオン(Ca <sup>2+</sup> )	7.7	0.38	4.88
ストロンチウムイオン(Sr <sup>2+</sup> )	0.2	0.00	0.00
バリウムイオン(Ba <sup>2+</sup> )	0.1	0.00	0.00
陽イオン計	179.8	7.78	100.00

### (2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
フッ素イオン(F <sup>-</sup> )	0.3	0.02	0.26
塩素イオン(Cl <sup>-</sup> )	102.7	2.90	37.96
臭素イオン(Br <sup>-</sup> )	0.3	0.00	0.00
硫化水素イオン(HS <sup>-</sup> )	0.3	0.01	0.13
硫酸イオン(SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.7	0.01	0.13
リン酸水素イオン(HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.6	0.01	0.13
炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	286.0	4.69	61.39
陰イオン計	390.9	7.64	100.00

### (3) 遊離成分

非遊離成分			溶解ガス成分		
成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸(H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	60.8	0.78	遊離二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	3.0	0.07
メタホウ酸(H <sub>2</sub> BO <sub>3</sub> )	0.9	0.02	遊離硫化水素(H <sub>2</sub> S)	0.1未満	0.00
非遊離成分計	61.7	0.80	溶解ガス成分計	3.0	0.07

### (4) その他微量成分

マンガンイオン	0.062 mg/kg	総ヒ素	0.002 mg/kg
アルミニウムイオン	0.02 mg/kg未満	総鉄	0.09 mg/kg

### 5 温泉の分析年月日

平成26年2月10日

### 6 登録分析機関の名称及び登録番号

株式会社総合保健センター 岐阜県第4号

溶解物質(ガス性のものを除く) 0.6324 g/kg

成分総計 0.6354 g/kg

## 禁忌症、適応症及び入浴上の注意

### 1 禁忌症(浴用)

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期)

### 2 適応症(浴用)

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

### 3 入浴の方法及び注意

- (1) 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
- (2) 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- (3) 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に、湯あたり(湯さわり又は浴湯反応)が現れることがある。「湯あたり」の際は、入浴回数を減し又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- (4) 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
  - ア 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
  - イ 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
  - ウ 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれを起こしやすいため)は逆に浴後臭

水で身体を洗った、温泉成分を拭き取るのがよい。

エ 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。

オ 次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。

(ア) 高度の動脈硬化症

(イ) 高血圧症

(ウ) 心臓病

カ 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。

キ 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。

ク 飲酒しての入浴は特に注意する。

### 4 適応症、禁忌症決定年月日

平成26年3月27日

## 成分に影響を与える項目

### 1 加水の状況

加水はしていません。

### 2 加温の状況

加温はしていません。

### 3 循環利用・ろ過の状況

循環利用及びろ過はしていません

### 4 入浴剤等添加の状況

入浴剤等は添加していません。

### 5 消毒処理の状況

該当ありません。